

ジェンダー・LGBTQの本

「男の子だから」「女の子だから」と知らず知らずのうちにイメージを持ってしまっていないですか？本当に大事なのは「ありのままの自分でいい」ということ。

人それぞれに個性があって、好みや価値観はちがう。

「ちがい」について考えながら、多様性への理解を深めることができる本を集めてみました。

ジェンダーについて

SDGsのきほん 6 ジェンダー 稲葉 茂勝／著 ポプラ社	2015年に世界のすべての国が集まって決めた人類の17の目標「SDGs」。世界の女性差別の実態や男女格差について分かりやすく紹介します。
男の子でもできること プラン・インターナショナル／文 西村書店	男の子も女の子も、同じ権利を持っています。けれども、世界には、家族を支えるために学校に行かせてもらえない女の子がいて…。
男らしく、女らしくがいいの？ 西田 征史／原作 鈴木 友唯／絵 ほるぷ出版	主人公のアイくんは手芸が大好きな男の子。でも「男らしくないから…」と誰にも知られたくありません。「男らしい、女らしい」っていったい何だろう？
女の子だから、男の子だからをなくす本 ユン ウンジュ／文 エトセトラブックス	「きめつけ」をやめるために何がまちがっていて、どうしたらみんなが自由になれるのかをイラストと一緒に紹介します。
きめつけないで！「女らしさ」「男らしさ」全3巻 治部 れんげ／著 汐文社	男の子の色、女の子の色が決まってるの？自分らしく生きるために大切なことを、分かりやすく紹介します。
国際化の時代に生きるためのQ&A 2 ジェンダーってなんのこと？ ジュノ・ドーソン／著 創元社	生まれた時の性が、嬉しい人もいれば悲しい人もいます。ジェンダーについて分かりやすく体験談とともに紹介されています。
ジェンダー・フリーの絵本！ こんなのへんかな？全6巻 村瀬 幸浩／文 高橋 由為子／絵 大月書店	自分を、周りの人を、社会を、もっと自由な目でとらえなおすために、ジェンダーの問題を探り、自分らしく生きるってどんなことかを考えよう。
ジェンダーの世界地図 菅原 由美子 鈴木 有子／著 大月書店	女の子が学校に通う人数が少ない国がある？日本で生活しているだけでは見えてこない、世界の実情を分かりやすく伝えるデータマップシリーズです。

幼児から

おによりつよいおよめさん 井上 よう子／作 吉田 尚令／絵 岩崎書店	ひとり山奥に住んでいる鬼は、村へ下りていって悪さはたらいてばかりいました。ある日、飯たきをさせようと連れ帰ったお嫁さんは、何にもしないどころか、なんと鬼以上の腕っぷしです…。
---	---

女の子はなんでもできる! キャリル・ハート／ぶん アリー・パイ／え 早川書房	ペットを治療する獣医、勇敢な消防士、宇宙に挑む宇宙飛行士。女の子にできないこと、なれないものは何ひとつないのです!さあ、あなたは何をしてみたい?
きみのともだち 竹内 通雅／作・絵 岩崎書店	おとこってなに? へんってなに? ともだちってなに? おまごとやぬいぐるみ、お化粧やスカートが好きな男の子と、サッカーや怪獣ごっこが好きな男の子の友情を描いた絵本です。
たかくとびたて女の子 ラケル・ディアス・レゲーラ／作 汐文社	3人の女の子はそれぞれに夢があり、「ヤルキ」さんがくれた翼をもっています。でもそこに、夢が叶わないように邪魔をする悪者「ソレハムリ」が現れます。
ピンクはおとこのこのいろ ロブ パールマン／文 イダ カバン／絵 KADOKAWA	ピンクは女の子の色? 男の子の色? いいえ、すべての色はすべての人のもの。色をテーマに描いた、シンプルでやさしい多様性容認の絵本です。
ぼくのママはうんてんし おおとも やすお／さく 福音館書店	のぞむのママは電車の運転士、パパは病院に勤める看護師です。誕生日をめぐるエピソードを通し、日々の暮らしを描きます。
ジェンダー・フリーってなあに? 3 ぼくはよわむし? 草谷 桂子／文 鈴木 まもる／絵 大月書店	タケはすぐ泣くので、「よわむし」といじめられます。男の子は強くなければいけない? いじめられたらやり返すのではなくて、友だちとつながりあえる道を探ります。

低学年から

色とりどりのぼくのつめ アリシア・アコスタ、ルイス・アマヴィスカ／文ガスティ／絵 光村教育図書	ベンは、マニキュアに夢中な男の子です。色とりどりのごきげんなつめを見ると、ワクワクするから。ところが、つめを真っ赤にぬって学校に行ったある日、男の子たちから「やーい、女の子!」とからかわれ…。ジェンダーを考える絵本です。
おんぶはこりごり アンソニー・ブラウン／作 平凡社	ピゴットさんのおうちは絵に描いたような幸せそうなうち。でもママは毎日、パパや子どもたちの世話で大忙しです。うんざりして、とうとう家出をしてしまいます。
しごとをと리카えただんなさん ウィリアム・ウィースナー／え 童話館出版	若いお百姓のだんなさんとおかみさんが仕事を取り替えることにしました。次の日の朝、おかみさんは畑仕事、だんなさんは家事。「こんな仕事、簡単なもんだ」と鼻歌混じりのだんなさんでしたが…。
せかいでさいしょにズボンをはいた女の子 キース・ネグレー／作 光村教育図書	今から約150年前、女の子が着ることができるのはドレスだけでした。それでもズボンをはき続け、後に女性初の軍医として活躍したメアリー・E・ウォーカーの幼い日を描きます。
ぼくは赤ちゃんがほしいの シャーロット・ゾロトウ／文 ペネ・デュボア、ウィリアム・ペーヌ／絵 童話屋	男の子のウィリアムは、バスケをするよりも、汽車の模型よりも、人形が大好きです。みんなからは「女の子みたい」とからかわれますが、その理由をおばあちゃんだけはわかっていました。

中学年から

おんなのこだから レイフ・クリスチャンソン／文 はた こうしろう／絵 岩崎書店	女の子なんだから、おそうじ・洗濯・お買い物・食事のしたく・あとかたづけをするのは当たり前なの？みんなと一緒に考えてみよう。
きょうりゅうレディ リンダ・スキアース／作 マルタ・アルバレス・ミゲンス／絵 出版ワックス	今から200年ほど昔のイギリス。子どものころから化石を愛した1人の女性がいきました。独学で発掘と調査を重ね、魚竜や首長竜を発見した偉大な女性古生物学者、メアリー・アニングの物語です。
男子☆弁当部 イノウエ ミホコ／作 ポプラ社	小学校で月に1回の「お弁当デー」がはじまりました。料理ができるようになりたいタケルとユウタは、料理ができるソラをまきこみ、男子弁当部を結成します。
チェンジ・ザ・ワールド！ スーザン・フッド／文 フレーベル館	昔からたくさんの女性や少女が、自分たちを女という名の小さな箱に閉じこめようとする人たちに抵抗して、社会を改革してきました。アメリカ初の女性消防士、最年少でノーベル平和賞を受賞した少女など、14人の女性改革者たちを紹介します。

高学年から

女と男のちがいは？ プランテルグループ／文 あかね書房	女は弱い？ 男は偉い？ 体のつくりは違うけど、同じ人間である「女と男」について考えよう。子どもへの問いを通して社会のしくみを解説する、スペイン発のピクチャーブック。
すし屋のすてきな春原さん 戸森 しるこ／作 講談社	伝は女性の寿司職人・春原さんに会いました。クラスメイトの海江田美緒が、将来寿司職人になりたいという夢を否定されたとき、伝は声をあげることができなくて…。
ぼくのまつり縫い 神戸 遥真／作 偕成社	サッカー部を休部中に、たまたま被服部を手伝うことになった優人。隠していた手芸好きを見破られ、ドレス作りをサポートすることになります。かくれ手芸男子が本当に好きなことに向きあうまでの物語です。
わたしは反対！ デビー・リヴィ／文 エリザベス・バドリー／絵 子どもの未来社	法服にえり飾りがトレードマークで、「RBG」の愛称で親しまれたアメリカ最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバーグ。女性や少数者の権利のため、異議を唱え続け、少しずつ社会をかえていきました。彼女の人生を紹介します。

中学生から

オンナらしさ入門〈笑〉 小倉 千加子／著 イースト・プレス	この世に「女の子」として生まれ落ちた瞬間から、家で、学校で、社会でいやおうなく経験する「オンナらしさ」からくる「生きにくさ」。その根っこにある秘密をシニカルに解き明かし、のびやかに笑い飛ばすための、とっておきの知恵を伝える本です。
子どもと話すマッチョってなに？ クレマンティーヌ・オートン／著 現代企画室	「マッチョ」って、筋肉モリモリの人のこと？ いいえ、もっと幅広い問題を含んだ言葉です。男女平等への歩み、法律の変化、フェミニズム運動など、性をめぐるさまざまな問題を、姉と弟が率直に、幅広く語り合います。

チア男子!! 朝井 リョウ／著 集英社	幼い頃から柔道に打ち込んできた大学1年の晴希は、怪我をきっかけに柔道部を退部。同じころ柔道をやめた一馬はある理由から、大学チアリーディング界初の男子のみのチーム結成を決意します。笑って泣ける長編スポーツ小説です。
わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。 プラン・ジャパン／著 合同出版	「女の子だから学校に行けない」「女の子だから使用人として労働させられる」…。国際NGOプラン・ジャパンのメンバーが、世界各地で知り合った女の子たちをとりまく困難な状況を伝えます。

LGBTQについて

幼児から

あおいらくだ 茂田 まみこ、長村 さと子／作 楓 真知子／絵 北樹出版	一緒に旅をすることになったあおいらくだと茶色いらくだ。互いの違いに戸惑いつつも、違うことの素晴らしさに気付いていきます。互いの違いや魅力に気づいていく物語。
くまのトーマスはおんなのこ ジェシカ・ウォルトン／さく ドゥーガル・マクファーソン／え ポット出版プラス	少年エロールとくまのトーマスは友だちです。トーマスは女の子になりたいとずっと悩んでいました。ある日、自分は男の子ではなく女の子のくまだとエロールに話し始め、「わたしは自分らしくいたい」と言いました。
ジュリアンはマーメイド ジェシカ・ラブ／作 サウザンブックス社	人魚が大好きなジュリアンは、おしゃれな人魚の格好をしているおねえさんたちと出会い、憧れます。ジュリアンは家に帰るなり身近な物をつかって人魚に変身することにしました。
たまごちゃん、たびにでる フランチェスカ・パルディ／ぶん アルタン／え イタリア会館出版部	もうすぐ生まれて外の世界に出なくてはならないたまごちゃん。不安なたまごちゃんは「家族」とはどんなものなのか知るために、色々な「家族」に会いに行くことにしました。
タンタンタンゴはパパふたり ジャスティン・リチャードソン、ピーター・バーネル／文 ヘンリー・コール／絵 ポット出版	動物園にはいろんな家族がいます。ペンギンのタンゴの一家は、そのどれとも違っていました。ロイとシロのパパふたりとタンゴ、それがタンゴの家族なのです。
ねぬ こしだ ミカ／【作】 架空社	生まれた時はいぬでしたが、「ねこになりたい」と努力して、ねこみたくないぬになった「ねぬ」。ねぬのねぐらには、捨てねこや弱った野良いぬたちが集まってきます。
へんなの 中山千夏／文 山下勇三／絵 自由国民社	「クマノミはね、生まれたときは女でも男でもないんだよ。しばらくすると、みんな男になるの」女性水中カメラマンから聞いた海のへんな生き物たちの不思議を描いています。
マチルダとふたりのパパ メル・エリオット／さく 岩崎書店	パールとマチルダは大のなかよしで、いろんなことがそっくりです。だけどマチルダには、ふたりのお父さんがいるのでした。
レッド マイケル・ホール／作 子どもの未来社	レッドは、ラベルの色と実際の色が違うクレヨンです。練習しても、みんなが手伝っても、どんなに頑張っても、赤い色が描けません。

わたしはあかねこ サトシン／作 西村 敏雄／絵 文溪堂	白ねこかあさんと黒ねことうさんから産まれた5匹のねこたち。その中で、1匹だけあかいねこがいました。あかねこは自分の体の色を気に入っていますが…。
---	---

低学年から

王さまと王さま リンダ・ハーン, スターン・ナイランド／絵と文 ポット出版	王子を結婚させようと、世界中の国からお姫さまが呼ばれました。いろんな国のお姫さまと会ってもしっくりこない王子が恋に落ちたのは…。同性を好きになってもちっとも不思議じゃない！王子さまと王子さまが結ばれるお話です。
王子と騎士 ダニエル・ハーク／作 スティーヴィー・ルイス／絵 オークラ出版	花嫁さがしの旅に出た王子は多くの娘たちと出会いますが、自分が求めるのはもっと別の存在だと分かっていました。ある日、王国がドラゴンに襲われ、王子はひとり立ち向かいます。その時、鎧を身につけた騎士が現れました。
個「性」ってなんだろう？ 中塚 幹也／監修 あかね書房	自分の体や性について迷ったり、人とは違う事を悩んだりしたことがありますか？性の多様性やLGBTの知識を、体や心の性に違和感を覚え始める年頃の小学生に向けて、マンガやイラストを交えてやさしく解説します。
にじいろのしあわせ マーロン・ブンドのあるいちにち マーロン・ブンド, ジル・トウィス／作 EGケラー／絵 岩崎書店	アメリカ副大統領の飼っているオスウサギは、オスウサギのウェスリーと結婚したいと思いました。「普通とちがう部分は誰しもが持っていて、それはいけないことではない」、動物たちは自身の「普通とちがう部分」を告白することで互いにその“違い”を認め合い、違いがあることは“素敵なこと”であると、確認していきます。
ふたりのパパとヴィオレット エミール・シャズラン, ガエル・スパール／作 ポット出版	男同士で手をつないだり、ハグしたりするヴィオレットの2人のパパのことを同級生たちはばい菌扱いし、ヴィオレットもそのことでイジメられています。でも、ヴィオレットはふたりのパパのことが大好き。3人はお互いを思いやる大切な家族なのです。
ホオナニ、フラおどります ヘザー・ゲイル／文 ミカ・ソング／絵 さ・え・ら書房	「自分は男と女のまんなかにいる」とホオナニは、思っていました。ハワイの伝統文化である男性の古典フラをとおして、「ありのままの自分」を表現しようとしています。
みんなえがおになれますように うい／作 早川 世詩男／絵 学研プラス	「トランスジェンダーの人は、何にこまっているんですか」「ふつう、あたりまえ、という言葉は、いやに感じますか」小学生のういさんが、インタビューし、思ったことをまとめています。
ランスとロットのさがしもの リンダ・ハーン／え・ぶん ポット出版	大きなお城で楽しく暮らしていた、騎士のランスとロット。あるとき2人の生活に何かが欠けていると感じ、子どもが欲しいと家族を作る「冒険」に出発します。2人の父親が子どもに愛情を注ぐ、家族の愛のお話です。
レインボーフラッグ誕生物語 ロブ・サンダース, スティーブン・サレルノ／絵 汐文社	ゲイの人権活動家ハーヴェイ・ミルクとデザイナーのギルバート・ベイカーによって、セクシュアルマイノリティの誇りのシンボルとして生まれたレインボーフラッグの物語です。誰もが平等に、自由に好きなように生き、愛する人と幸せになれる権利を持っているということを気付くことのできる本です。

高学年から

女の子になりたい男の子LGBTって何？ 森木森も／著 みらいパブリッシング	スカートを履くのも化粧をするのも髪をのばすのも、その人の個性。男の子を好きになるのも女の子を好きになるのも個性。男の子も女の子も関係なく好きになるのも個性。それがどうして変なことなの？ L GBTについて、カラフルなビジュアルとともにやさしく伝えます。
女子サッカー選手です。そして、彼女がいます 下山田 志帆／〔著〕 偕成社	私は女？ それとも男？ どの性の人を好きになる？ 自分の心や体とどう向き合う？ 人とは違う何かを 持っていることでモヤモヤしている人に、LGBTQ当事者の女子サッカー選手が伝える「自分を大切に するため」の話です。
ジョージと秘密のメリッサ アレックス・ジーン／作 偕成社	4年生のジョージは見た目は男の子だが、内面は女の子。家族にもいえないけれど、本当は誰かにわ かってもらいたい。自分の体の性別に違和感をもつトランスジェンダーの子の気持ちを描く物語です。
すきっていわなきゃだめ？ 辻村 深月／作 今日 マチ子／絵 岩崎書店	女の子たちの間で、好きな人に「好き」って言うのが流行ってて。でも、「好き」って言って、嫌がられたら どうしよう。恋愛観や結婚観、ジェンダー観などが変わりつつある今。“人を好きになる”という純粋な気 持ちの肯定と、現代の感覚に響く恋を絵本で描いています。
太郎の窓 中島 信子／著 汐文社	お父さんはいつも「男らしくしろ。強くなれ。」というけれど、でも太郎の心はぜんぜんちがう。太郎は男 らしくなんてしたくない。ミニカーよりも、ぬいぐるみで遊びたい。太郎という名前が大きらい。ズボンより も、スカートををはきたいのに…。心と体のちがいに苦しむ太郎の成長を描きます。
超・ハーモニー 魚住 直子／著 講談社	有名中学に合格して、ぼくの人生は上々のはずだった。なのにこの頃は憂鬱だ。そんなある日、家出をし ていた兄ちゃんが「女」になって帰ってきた。親子・兄弟・友だち同士、みんながギクシャク。この世は不 協和音でいっぱいだ。
村娘と王女 ダニエル・ハーク、イザベル・ギャルーボ／作 ベッカ・ヒューマン／絵 オークラ出版	王子の花嫁さがしのための舞踏会に、村娘が招待されました。彼女こそ花嫁に相応しいと人々は言う けれど、娘にとって王子は兄のような存在でした。ひとりで悩む彼女に美しい女性がやさしく話しかけ …。
ふたりママの家で パトリシア・ポラッコ／絵・文 サウザンブックス社	うちは、お母さんが2人、子どもが3人の「かぞく」。でも、特別ななんかじゃない。ふたりママ一家の日常は 笑い声にあふれ、地域にしっかり溶け込み、親戚やご近所さんたちからも愛されています。しかし、ひと りだけ、ふたりママ一家に鋭い視線を向ける人が…？
「ふつう」ってなんだ？ ReBit／監修 学研プラス	性のありかたは、見た目だけではわかりません。性について悩んでいる子だけでなく、友だち・周りの大 人も知っておきたい、「LGBT」に関する疑問や不安にこたえます。マンガやイラストを交えて紹介し、 「ふつう」とは何かを考えることのできる本です。
ぼくらのサブウェイ・ベイベー ピーター・マキューリオ／作 レオ・エスピノーサ／絵 サウザンブックス社	ニューヨーク市の地下鉄でダニーは、外に出ようとした時、布にくるまれた赤ちゃんを見つけました。赤 ちゃんとの出会いは、ダニーと、パートナーのピートの人生を大きく変えていきます。ゲイ・カップルと、彼 らのもとへやってきた赤ちゃんの、奇跡のような本当のおはなしです。
みんなちがってみんなステキ 高橋 うらら／著 新日本出版社	LGBT理解のために、学校現場への出張授業やLGBT就職支援などの活動をする団体、ReBit（リ ビット）。周囲とのちがいに感じた疎外感や孤独、いじめや差別。自問自答しながらも前に進みつつづ けるメンバー8人が多様な性やジェンダーについてリアルに語ります。

中学生から

カラフルなぼくら スーザン・ーククリン／著 ポプラ社	いろんな人がいるように、いろんな性別がある。そう、カラフルなんだ！LGBTの若者たちが、どのように自らの性と向き合い、肉体的・精神的に自分らしい生き方へ踏み出しているかを追ったノンフィクションです。
恋の相手は女の子 室井 舞花／著 岩波書店	初恋は女の子。でも、教科書には「思春期には異性に関心をもつ」って書いてある。同性を好きになるわたしはまちがってる？LGBT当事者の女性が、誰にも悩みを打ち明けられなかった10代から、カミングアウト、結婚まで、自身の体験を綴るほか、さまざまな当事者のエピソードも紹介します。
孤独な世界の歩き方 村上 裕／著 イースト・プレス	「なぜ生きることはこんなに苦しいんだろう？」虐待、いじめ、自殺未遂、カミングアウト…。ゲイの心理カウンセラーが、自分自身の半生を紐解きながら、セクシャル・マイノリティの視点と心理学的視点で、この生きにくい孤独な世界との向き合い方を語ります。
スカートはかなきゃダメですか？ 名取 寛人／著 理論社	N.Y.を拠点に世界各国で公演している男性だけのバレエ団で初の日本人ダンサー名取寛人。実は女性として生を受けました。スカートが嫌でジャージで通っていた中学高校時代から、男性ダンサーとして活躍し、手術を受けて戸籍を男性に変えたこと。夢の叶え方を語ります。
スペシャルQトなぼくら 如月 かずさ／著 講談社	中2のナオは、女子のようにメイクをして、かわいい服で街をあるく優等生・久瀬の姿を目撃しました。そのときから、自分のことをごく普通の男子だと思っていたナオの心に、ある願いが生まれて…。Q=クエスチョニング。自分の性別が男か女かわからない。自分が好きになる相手が異性が同性かわからない。だけど、ぼくらはぼくらの好きなものが好き!!
図解でわかる14歳からのLGBTQ+ 社会応援ネットワーク／著 太田出版	LGBTQ+とSDGs。「誰も置き去りにしない」世界に向けて。「性」を表すのは「男」と「女」だけじゃありません。性自認・性的指向・性表現…自分のセクシュアリティを多面的に捉えることで見えてきます。LGBTQ+や、ジェンダー、性についてカラー図版を用いてわかりやすく解説します。
ダブルハピネス 杉山 文野／著 講談社	毎日風呂に入る。鏡に映った自分の裸に、うーん…。常に「女体の着ぐるみ」を身に付けているかのような違和感を抱く日々。心と体の性の不一致に苦悩する「性同一性障害」を抱えながらも、フェンシングに打ち込み、仲間や家族、愛する人たちとの理解を育んできました。辛さ、悲しみは2倍。でも、2倍楽しいフミノの青春を描きます。
HAVE PRIDE ステラ・A. コールドウェル／著 合同出版	LGBTQ+の人びとの権利獲得に向けた思いと行動、それを抑圧する社会の歴史をたどります。セクシュアリティを公表した有名人や運動の前線で闘った人びとの生き方、今を生きるLGBTQ+の若者からのポジティブなメッセージとともに、希望と勇気と誇りを今につなげます。
ふたりのママから、きみたちへ 東 小雪, 増原 裕子／著 イースト・プレス	レズビアンのカップルが、共にウエディングドレスを着て同性結婚式を挙げました。ふたりは「子ども」を育てることを計画中。「レズビアンのカップルに子ども?どうやって?」いつか出会う自分たちの子どもに、優しく語りかけるように自分たちの生き方や考え方について綴っています。
僕が夫に出会うまで 七崎 良輔／著 文藝春秋	幼少期のいじめ、学生時代の初恋、失恋、抑えきれない嫉妬、そして友人、親へのカミングアウト。「普通じゃない」と言われ、苦しみつづけたセーラームーン好きの少年は、懸命に自分と向き合い、巡り会えたパートナーと幸せを掴みます。「同性結婚式」を挙げた著者が、その半生を振り返ります。
ぼくがスカートをはく日 エイミ・ポロンスキー／著 学研プラス	今度、学校で演劇のオーディションが開催される。ぼくは、女神の役をやりたい。ぼくは自由に自分らしく生きたい。本物の女の子になりたい。12歳のグレイソンは、一歩、進みはじめます。自分らしく生きる道を選択した、トランスジェンダーの少年の姿を描きます。
LGBTなんでも聞いてみよう QWRC, 徳永 桂子／著 子どもの未来社	「男の人がカッコイイと思うのはゲイだから?」「同性愛って、思春期の一時的気の迷い?」「彼氏から『女の子になりたい』と言われてびっくり!」「性別って変えられる?」「性の多様性」を中心において、中・高生から実際に出た質問に答えるQ&A方式で、具体的に「性」について考えます。

大人

子どもの性同一性障害に向き合う 西野 明樹／著 日東書院本社	子どもの言動に性別の不一致を感じたとき、ご自身や身近な子どもが性別違和感を抱いているとき、どう向き合い寄り添っていけるでしょうか。性同一性障害の当事者であり、支援者でもある著者が、性別違和感を抱く人の苦悩に寄り添う心構えや、大切な未来をよりよく考えたり選択したりするのに役立つ対応例を紹介します。
性別に違和感がある子どもたち 康 純／編著 合同出版	性別に対して違和感を持つ子どもたちを、どのように受け入れていけばいいのか。子どもが自分らしいジェンダー・アイデンティティを確立する課程で性別違和を表現したときに、子どもたちのために学校・家族ができることを紹介します。性別違和の症状や特徴、疫学、原因などを解説しています。
はじめて学ぶLGBT 石田 仁／著 ナツメ社	「性自認」「性的指向」といった基本的な用語、カミングアウトや学校教育、当事者の健康、法律上の問題、自治体の取り組み、市民生活…。LGBTにまつわる基礎的な知識を、はじめて学ぶ人にも理解しやすいようにわかりやすく解説しています。
LGBTサポートブック はた ちさこ／編著, ほか 保育社	いじめを受けている児童・生徒をどう支援すべき? 「ホモ」「オカマ」「レズ」などの言葉を口にする児童・生徒に対して、どのように対応したらいい? 同性パートナーに病状を説明してもよい? 学校・教育関係スタッフや医療・看護スタッフが知っておくべきLGBTの知識を解説します。
LGBTQを知っていますか? 日高 庸晴／監著 星野 慎二／ほか著 少年写真新聞社	20人に1人はいると言われる「レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング」といった、セクシュアルマイノリティの思春期について、専門家の解説や当事者の体験談や学校現場への提言などを紹介します。
LGBTってなんだろう? 薬師 実芳／著, ほか 合同出版	LGBTの子どもたちにとって体育やプール、制服、学校行事、友だち関係、カミングアウト…日常生活の中にたくさんのつらい場面や不安な要素があります。LGBTの学生50人以上の声を紹介します。